

藤 巧



ご自慢の音響システムでモーツァルトを聴く河上さん、自然に笑みが浮かぶ

ディジュースポーツ 2007年6月15日

「モチーフとモチベーション」

取材後記

河上さんは、取材の中で「モチーフとモチベーション」について語った。これは、定年後の人生で何かをするときの根源的な話だと思う。モチーフとは、そのことをする意味合いだ。一個人として35歳で亡くなった神童モーツァルトへの興味は尽きなくても、「なぜオレはこんなことをしているのか」と、今も自問自答することがある。

モチベーションを上げるにはモチーフの設定が重要になる。要は自己満足の域を、どう超えるかだ。収益を上げるのも一つの手で、そうなれば事業の後継者も出てくる。ただ、今すぐは期待せず、「明治時代以来の日本語タイトルと原語の検証と、曲を生んだ時代背景の探究」を新たなモチーフに設定。結果はサイトで発表する。

(良)